

下水道のSDGsも考えよう!



みんなは、SDGsって聞いたことがあるかな?これは、「地球を守るための目標」のこと。この目標を達成するために、世界中でいろいろな取組みが進められているんだ。そんなSDGsに下水道も貢献してる!?下水道とSDGsについて考えてみよう! SDGsについては、6~7ページを見てみてね!

1 下水道管が古くなったら?



道路の下に埋まっている下水道管を古くなったままにしておくと、道路に穴が空いたり、下水が街に溢れることも。。。そうならないためには、定期的に点検して、古くなった下水道管を入れ替えたり、リニューアルすることが必要なんだよ。



長崎市下水道も60歳!
きちんと考えなきゃいけないね

長崎市では

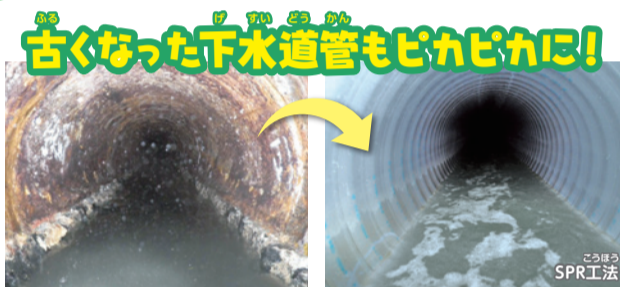
「環境と釣り合った、強くて長持ちする下水道」を目指して、下水道の長生き計画を立てているんだよ。その上で、計画通りになるように、安心・安全なまちづくりを進めているんだね!

古くなった下水道管を新しくすることは...

<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任つかう責任</p>
------------------------	-------------------------	----------------------

24時間365日、下水道が使えることで、私たちは安全にトイレが使えるし、街や川、海がきれいに保たれて、住みやすい街になるよ。また、最新の技術を導入することで、工事中になるべくゴミを出さない ことにもつながるんだよ。

下水道管をリニューアルするスゴイ技術



古くなった下水道管もピカピカに!
下水道管を掘り起こして入れ替えるのではなく、プラスチック製の帯を古くなった管の内側に巻きつける最新技術もあるんだよ。この方法なら、道路を掘り返さずに下水道管が復活するんだ!

2 トイレが使えなくなったら?



災害時には、下水道管が壊れてトイレが使えなくなるかも。。。使えなくなったトイレを無理やり使うと、下水が逆流することもあるんだって!だからといって、トイレを我慢すると身体に雑菌が繁殖して、病気になることもあるんだよ。



長崎市では

災害に備えて、避難所(公園や学校)に便器にかぶせる使い捨て非常用トイレ袋や仮設トイレを用意しているよ。

災害時にトイレが使えなくなったらどうなるか、家族や友達と話してみよう!

覚えておけ! マンホールトイレ



事前に避難所などに設置した専用のマンホールの上にトイレを設置することで、うんちやおしっこを直接、下水道に流せる優れモノ!



駐輪場に設置しておけば、雨や風の日でも安心して使えるね!

災害時のトイレを備えておくことは...

<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>
------------------------	-------------------------	------------------------

普段から準備しておけば、災害時でも家や避難所で安全にトイレが使えて、大雨や地震に負けない、どんな時でも安心して住める街になるね。